

「9 / 28 便所飯（飯）」冒頭に対し、檜垣先生は「大学側の試みは、むしろつながりを絶つ方向であり、対立を強調するほうがつながりになるのだ」と話されていました。一通り読んでみていかがでしたか。やはり噛み合っていないと思われたのではないのでしょうか。私はそう思っています。今日のやり取りでもそう感じました。そこで、このやりとりを見ながら、噛み合わない原因を探ろうと思います。

檜垣先生

「リアクションペーパー（9 / 16）誤解してると思いました。想田さんにしてこういうことを言われたら何を言えばと思うんですけど。対立したり違いを明確にするのは、相手を本当に理解したいと思うから。対立は『理解するため』という目的とも言えるけれど、対立自体にも意味はあると思います。まあ相手を傷つけるためだけの意味のない対立もあるでしょうが。対話の途中・対立の途中でやめるのが一番よくないと思います。

こういう対立を経て相手を真に理解する仕方を学んだり、対立をあまり恐れなくなったきっかけが、20年前の広島大学でありました。もう全ての問題において対立する先輩がいてね。見事なまでに毎回意見が分かれる。でも、向こうの言うことにもこちらの言うことにも、論理的に筋は通っている。なのに一度も意見が同じになることが無かった。辛かったですね。他の人となら意見が違うこともあれば合うこともあるのに、その人とだけは一貫して意見が合わない。だから、最初の頃は向こうがわざとやっているんだと思っていましたね。向こうのほうが頭がいいから、正反対のことにも理屈をつけられるんだと。でも、長年話すうちに、そうではないことがわかってきました。『君にはこういう前提がある』と言われたり僕からも指摘したりと、互いの前提としていることが少しずつ見えてくる。僕は、相手のことをいつかは理解できるものだと思うし、本当の答えというものを見出そうとするほうだった。でも、向こうは、人は絶対に分かり合えないものだと思っていたし、一つの絶対的真理とかにも疑いを持っていた。単なる相対主義者じゃないということは、何度も話をするうちにわかったけれど、僕には相手の言動が真理から遠ざかるう・逃げようとする態度に見えてしまう。それは向こうも同じで、僕が真理があると理解しあえたとか言うのは、そういうふりをしているだけで、思い込みに過ぎない、というように見えてしまう。互いに互いの先入見でもって相手を見ているから違っていくんですね。テキストの訳という、答えがあるような問題で正反対になるということは、その訳の箇所が問題なのではなく、僕がどういう人間で、向こうがどういう人間か、という問題になってくる。そして、自分と本当に違う人がいると理解したとき、相手に深いつながりを感じました。それは僕だけでなく向こうも同じだったようで、本当に趣味も何もかも違うから、いつも一緒にいるような友人という感じではないんだけど、今でもたまに会ったりしますね。そういうのって嬉しくありませんか。中途半端になるのが一番よくないと思いますね」

想田

「対立を不安に思うのはそれが中途半端な段階だからだ、ということならわかった気がします。でも、誤解してると言われるのは心外な気がして。自分ではかなり檜垣先生よりの意見だと思っていたのですが。自分が傷つかないことが前提（最優先事項）になっていると、対立したり違いを明確にすることは単なる損に思えてしまう。だから、愛想よく対話に肯定的なそぶりを見せても、（先生にしてみれば）突然、授業を放棄するということも起きてくる。『対立には意味がある』という前提がないのだから、先生はそこを言うべきだと思うんです。対立は、テキストを理解するためであるとか、相手を深く理解するためである、のように意味があるものなのだと。そういう目的を強調したほうがいいと言う事を訴えたかったのですが」

そして、檜垣先生に「この前から思っていたけれど、目的という言葉が強調しすぎている気がする。目的を共有できないこともあるでしょう」という指摘を受けました。

さて、こうして並べてみると、「対立」についてどうも噛み合っていないようですね。私にとって対立とはまず「できれば回避したい負担・嫌なもの」です。ただし、やさしい人間関係の克服においては、しっかり対立することが必要なので、対立をどのようになら我慢できるかと考えます。そこで目的が出てくるのです。対立は、その先にある「テキストの深い理解」とか「相手を真に理解する」とか「自分自身の成長」などという、プラスの結果があって初めて意味がある（我慢に値する）ものになります。つまり、「嫌なものである対立を強調するからには見返りがあるはずだ。そうでなければ対立に意味など無い」と、私は思っているので、檜垣先生には目的を強調しすぎる様に見えるのではないのでしょうか。先生は、対立自体にも意味があると考えているため、目的は、強く意識される必要はなく、単なる前提ですんでいるのだと思いました。対立は無数にあるものの、私の我慢には限界があります。そうすると、自分の目的と合う人とだけ関係を築き...と、どこかで見たような行き詰まりパターンが生じるのでしょうか。しかし、対立自体に意味があるとはどうしても思えないのですが。